

# 高松「みらいのはたけ」での「ちゃんとごはん」事業の実施報告

資料 4 - 2

1 実施日 令和5年 11月26日（日） 9時30分～13時

（食育推進ボランティア従事時間：9時～13時30分）

会場 高松「みらいのはたけ」

従事者 6名	食育推進ボランティア 3名 (健康推進課) 川嶋、福田、岩田
-----------	-----------------------------------

2 参加者 申込者 年長児、小学生親子 9組  
当日参加者 年長児、小学生親子 7組 計 7組（14名）

3 食材料について

- ・野菜は高松「みらいのはたけ」で収穫したものを使用：白菜、長ねぎ、大根（当日収穫）、にんじん（前々日に収穫したものを前日に洗って使用）、ブロッコリー（1か月前に収穫し、冷凍保存したものを使用）
- ・米、かつお節、昆布、さばみそ煮缶、砂糖、しょうゆ、酒は、フードドライブ事業から提供
- ・マヨネーズは健康推進課のものを使用

4 感想・次回の課題等

○当日の様子等

- ・周知チラシは11/12（日）に高松みらいのはたけで行われた収穫体験の中で、都市農業課の職員に配付を依頼し、11/13（月）0時からLogoフォームにて受付を開始した。11/13 8:30時点で7件申込みがあり、12:30で定員がいっぱいになり、受付を終了した。
- ・9時30分から調理に使用する野菜の収穫を行った（参加者は見学のみ）。健康推進課職員がJAの職員に野菜についてのインタビューをしながら、JAの職員が野菜を収穫した。今日使用する野菜はいつ種まきをしたのかなどの質疑応答のやりとりや野菜の収穫した瞬間などに、参加者からは歓声があがる場面もあった。
- ・子どもたちが調理をしている間、保護者には外で食育講座を実施した。小雨が降りとても寒かったが、全員が講座に参加し、真剣な様子で聞いていた。途中、温かいだしを提供したところ、大変喜ばれた。講座終了後はフリータイムとして帰宅しても可とし、12時に再度集合してもらった。
- ・調理は子どもたちのみで実施した。元々友だち同士での参加でふざけている子どもたちがいたり、飽きてしまう様子の子も見られたが、時間通りに進めることができた。普段は児童館職員が子どものサポートをしてくれるので、初めて会う子どもたちと自分たちだけで調理をする難しさを感じた。
- ・保護者からは「子どもだけで調理体験ができるのがよかった」との感想を多くいただいた。終了後アンケートについては（別紙）

○食育推進ボランティアから

（リーダー）

・子どもたちとの対面でのちゃんとごはんが久々で、皆さんのおかげでとても楽しかったです。担当したグループのお子さんたちは、野菜を切るのもちぎるのも全力！の女子3人で、やる気と好奇心のかたまりで、一緒に過ごしていて、吸収力の強さに感心させられました。洗米の仕方も頭で知っていて「最初（の水）は早めに捨てるんでしょ？」と言った子がいたのですが、「よく知ってるね～！…それはなぜなんだっけ？」と聞いてみた時の反応、表情も忘れられません。全力で考えてるか、思い出そうとする顔。子どもたちのパワーを感じられて、幸せなひと時を過ごせました。

（サブリーダー・調理担当）

・全体が見えてとてもいい経験になり、心身共に温かい気持ちになりました。積極的な子が多く、さばも意外と「おいしい」と食べていて、よかったと思いました。保護者向けの食育の話も、保護者の方が真剣に聞いている様子を見て、自分も聞いてみたいと思いました。

（子どもサポート）

・皆さんの会話力がすごいなと思いました。初めて包丁を持った子もいましたが、頑張る姿に感動しました。「ママのために」と作ったことが嬉しい様子でした。